



暴風雪による災害への備え

暴風雪は、発達した低気圧が北海道付近を通過する時や冬の気圧配置で季節風が強まる時などに発生します。また、石狩・空知・後志地方では、石狩湾付近に小さな低気圧が発生した際に局地的に暴風雪となることがあります。

北海道では、暴風雪による災害が繰り返し起きており、時には人命を奪うほどの災害となることがあります。2013年3月の暴風雪では、北海道で9名もの犠牲者が出る程大きな災害となりました。

低気圧の移動する速度が速い場合や地形が急に開けた場所等では、風の強さや見通しが急激に変化して、猛ふぶきでホワイトアウトになることがあります。2013年3月の暴風雪災害では、午前中晴れていた天気が数時間後に急変し、猛ふぶきや吹き溜まり、視界不良となって、車の立ち往生が多数発生しました。暴風雪時にはその他、吹き溜まりで車のマフラーが塞がれ車内での一酸化炭素中毒、ホワイトアウトで身動きが取れなくなり体温が奪われることによる低体温症、飛散物等によるけが、電線断線による停電など、様々な形態の災害が起きるおそれがあります。

気象台では、暴風雪により重大な災害が発生するおそれがある場合、「暴風雪警報」を発表して、警戒を呼びかけます。最新の気象情報や雪の状況を、テレビ・ラジオやインターネットなどにより確認し、暴風雪が予想されているときは、無理をせずに外出は控えましょう。

●札幌管区気象台ホームページ：
<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/index.html>

こちらからも ⇒
ホームページ
をご覧ください。



日常から暴風雪に備える

★ 家の中で安全に過ごすために

- 気象情報に注意して、暴風雪が予想されているときは外出を避けましょう。
- 停電に備えて、懐中電灯、携帯ラジオ、防寒具、ポータブルストーブや灯油、非常食、飲料水などを準備しておきましょう。
- FF式暖房機等を使用している場合は、給排気口付近が雪でふさがれないよう注意しましょう。



★ 止むを得ず車で外出するときは

- 天気の急変などにより車が立ち往生することを想定して、防寒着、長靴、手袋、スコップ、けん引ロープなどを車に用意するとともに、十分に燃料があることを確認しましょう。



問合せ 札幌管区気象台天気相談所 ☎011-611-0170

余市町の空間放射線量率 10月24日～11月21日の本町の空間放射線量率は「平常レベル」でした。
(最高値：4.9nGy/h、最低値：3.6nGy/h、平均値：4.0nGy/h) ※平常時は1.0～6.0nGy/h程度